

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | | |
|-------|----------|---|----|---|--------|-----------------|
| 一般会計 | | | | | 事務事業分類 | A 一般事務事業 |
| 事務事業名 | 健康意識向上事業 | | | | シート番号 | 011-268 |
| 担当部署名 | 健康福祉 | 局 | 健康 | 部 | 健康医療推進 | 課 評価責任者(課長名) 河盛 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|---|--|---|--------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 1 | 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 1 | 市民の命を守る健康・医療体制の強化 | 無 |
| | 2 | 事業開始年度 | 平成 30 年度 | | 終了(予定)年度 | 令和 2 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 健康増進法 | | | |
| | 4 | 関連計画 | 健康さかい21(第2次)、堺市食育推進計画(第3次)、堺市歯科口腔保健推進計画、堺市自殺対策強化プラン、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 他 | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 本市では、市民の健康の保持増進および健康格差の縮小に向けての施策を、「健康さかい21(第2次)」を策定し、推進している。平成29年度に健康寿命が低い傾向にある理由を解明し、今後の効果的な施策を見出すために「健康寿命の延伸に関する施策の効果検証研究」を学術機関と行った。その報告書の結果から、本市ではがん対策に加え、循環器疾患等についての生活習慣病対策の強化が重要であるとの根拠のもと、令和3年1月から生活保護法改正により全国で展開される「被保護者健康管理支援事業」に先駆け本事業を実施することとなった。 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | | |
|------|--------------|--------------------------------|---|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 堺市民 | | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 本業務は、中長期的に全市展開する健康増進事業の実施に資するため、主に被保護者(生活保護受給者)の年齢別及び地域別の疾病動向その他被保護者の医療に関する情報について、調査及び分析を行い、データに基づき事業対象者を選定し、生活習慣病予防等の取り組み方法を検討提案するものであり、本業務の履行を通じて市民の健康意識を高め健康状態を改善し、堺市民の健康寿命の延伸につなげることを目的としている。 | | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | 平成30年度には、主に、被保護者(生活保護受給者)の疾病動向その他被保護者の医療に関する情報について調査を行い、各データから、健康寿命に関連する疾患の発生率や発症状況の動向等について、公衆衛生学の専門的視点から分析を行い、健康支援候補者の選定を行った。 今後は健康支援候補者のうち同意が得られた者に対し、生活習慣病への移行を防止することを目的とし、健康診査受診勧奨、医療機関受診勧奨、保健指導等を行う。 また、同時に大阪大学の協力を得て、対象者の受診後の健康診査データ及びレセプトデータ等の追跡調査等を行うことにより、事業効果の検証・評価を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | 大阪大学他 | | | | | |

Ⅲ. 投入量

| 事業コスト | 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 |
|--------|-----------------|------------------|--------|----|--------|--------|---------|--------|---------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 11 | 事業費 (a) | 千円 | 0 | 0 | 4,000 | 3,955 | 88,321 | 80,781 | 100,982 |
| | 主な事業費内訳 | 需用費 | 千円 | | | | | 691 | 619 |
| | | 委託料 | 千円 | | | 4,000 | 3,955 | 87,630 | 80,081 |
| | | | 千円 | | | | | | 82 |
| | 財源内訳 | 国・府支出金 | 千円 | | | | | 84,521 | 80,780 |
| | | 受益者負担金(使用料、手数料等) | 千円 | | | | | | |
| | | 市債 | 千円 | | | | | | |
| その他() | | 千円 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | | | 4,000 | 3,955 | 3,800 | 1 | 6,374 |
| 12 | 人件費 (b) | 千円 | | 0 | 2,800 | 9,220 | 13,170 | 13,170 | 13,350 |
| 13 | 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 0 | 0 | 6,800 | 13,175 | 101,491 | 93,951 | 114,332 |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 事務事業名 | 健康意識向上事業 | シート番号 | 011-268 |
|-------|----------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| 令和元年度実績 | | | | | | | | | |
|---------|----|---|--|-----|--------|--------|-------|-------|---|
| 活動実績と成果 | 14 | 令和元年度、大学の健康支援候補者の選定1552人、生活介護課ケースワーカーからの選定10人の合計1562人のうち、アセスメントによる除外により絞られた1329人に対して事業利用を勧奨し、74人に同意を得て73人に保健指導を実施した。このうち、5人に1人が事業開始後に健康診査の受診に至った。また、健康支援の中では血圧測定を実施し、保健指導を実施した約半数の人が正常な血圧値ではなかった。2回以上血圧測定を実施できた人のうち36.4%が初回よりも2回目の値が低下していた。 | | | | | | | |
| | 15 | 健康診査受診率 | 単位 | % | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | | | | 目標値 | — | — | 3 | 3 |
| | | | | | 実績値 | 1 | 1 | 2 | |
| | | | | | 達成率 | — | — | 64% | |
| | | | | | 評価 | — | — | 少し悪い | |
| | | | 算出方法・設定根拠など 生活保護受給者の健診受診率(健診受診者数/生活保護受給者数) | | | | | | |
| | 16 | | 単位 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | | | | 目標値 | | | | |
| | | | | | 実績値 | | | | |
| | | | | 達成率 | | | | | |
| | | | | 評価 | | | | | |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----------------|---------------------|------------------------|--------|--------|--------|
| 17 | ① | 保健指導対象者数 | 人 | | | 1,552 |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | 3,788 |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | 2,441 |
| | 備考(算出についての説明等) | | 大学への委託費と大学が抽出した対象者数で算出 | | | |
| 18 | ① | 事業勧奨数 | 人 | | | 1,329 |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | 76,993 |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | 57,933 |
| | 備考(算出についての説明等) | | 健康支援事業委託費から算出 | | | |

業績の分析

| | | |
|----|---|--|
| 19 | <p style="text-align: center; font-size: small;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>令和元年度、事業開始が11月からとなり、3月は新型コロナウイルス感染症の余波を受けた影響はあるものの、受診率が上昇している。脳卒中などを起こす可能性のある血圧の高い方などをとらえて保健指導の実施ができており、狙いとするターゲットに対応できている。</p> | <p style="font-weight: bold; font-size: small;">【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。 |
|----|---|--|

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 事務事業名 | 健康意識向上事業 | シート番号 | 011-268 |
|-------|----------|-------|---------|

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

| | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|---|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和3年1月から生活保護法改正により全国で展開される「被保護者健康管理支援事業」に先駆け、国からの補助金にてモデル事業として本事業を実施しているため、廃止はできない。 |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和3年1月の施行に向けたモデル事業として国からの補助金にて本事業を実施しているため、休止(延期)はできない。 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、事業委託期間を令和2年9月から令和3年3月末までに短縮し、事業実施人員体制を18人から3人程度へ縮小する。 |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 原則家庭訪問での対応であったが、感染予防を配慮した対策を取り、面接や電話対応も可能として実施する。 |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 () | 理由・説明 本事業は、令和3年1月から生活保護法改正により全国で展開される「被保護者健康管理支援事業」の先駆けとして位置付け、国や保健部門、福祉部門関係課との連携を行いながら実施しているところである。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | |
| | 所見 | 令和2年度は、事業の継続実施を規模を縮小しながらも効果を低下させないよう、事業委託内容を一部変更して行う。令和3年度は、令和2年度に実施した事業効果の分析と検証を研究事業として大学に委託して行う。 | | |